

【戸建住宅（新築住宅）の評価料金】 2022年2月20日以降に設計評価及び長期使用構造等確認申請する場合

- ◆設計住宅性能評価：基本料金＋選択料金
- ◆建設住宅性能評価：基本料金＋選択料金＋出張費
- ◆長期使用構造等確認：基本料金

1. 設計住宅性能評価料金※3 (税抜金額 (税込金額)、単位：円)

階数	基本料金※1	選択料金※2
階数が3以下	45,000 (税込 49,500)	1,000 (税込 1,100)
階数が4以上	55,000 (税込 60,500)	1,000 (税込 1,100)

- ※1 5-2 一次エネルギー消費量を選択する場合には基本料金に 2,000 円 (税込 2,200 円) を加算
ERI が指定するソフトウェアを用いて申請書等を作成した場合、2,000 円 (税込 2,200 円) を減額
- ※2 選択料金は必須以外の項目を選択する場合、必須項目を含まない分野毎に 1,000 円 (税込 1,100 円) を加算。合計金額は 5,000 円 (税込 5,500 円) を上限とする。
- ※3 戸建住宅の設計住宅性能評価申請において長期使用構造等確認を希望する場合は、上記合計金額に 5,000 円 (税込 5,500 円) を加算

2. 建設住宅性能評価料金 (税抜金額 (税込金額)、単位：円)

階数	基本料金※1	選択料金※2
階数が3以下	95,000 (税込 104,500)	1,000 (税込 1,100)
階数が4以上	105,000 (税込 115,500)	1,000 (税込 1,100)

- ※1 5-2 一次エネルギー消費量を選択する場合には基本料金に 2,000 円 (税込 2,200 円) を加算
ERI が指定するソフトウェアを用いて申請書等を作成した場合、1,000 円 (税込 1,100 円) を減額
- ※2 選択料金は必須以外の項目を選択する場合、必須項目を含まない分野毎に 1,000 円 (税込 1,100 円) を加算。合計金額は 5,000 円 (税込 5,500 円) を上限とする。

3. 建設住宅性能評価に係る出張費 別表の出張費表による。

4. 長期使用構造等確認料金 (税抜金額 (税込金額)、単位：円)

階数	基本料金※1
階数が3以下	50,000 (税込 55,000)
階数が4以上	60,000 (税込 66,000)

- ※1 ERI が指定するソフトウェアを用いて申請書等を作成した場合、2,000 円 (税込 2,200 円) を減額

5. その他

①評価書等の追加印刷について

電子申請において評価書等が「紙」で必要な方は、申請時に追加発行の依頼をしていただければ、評価書等を「紙」で発行いたします。ただし、発行料金として 1,500 円 (税込 1,650 円) /件を申請料金に加算させていただきます。

②「紙」申請による追加料金について

「紙」による申請に関しては、追加料金として 1,500 円 (税込 1,650 円) /件を申請料金に加算させていただきます。

【戸建住宅（新築住宅）の評価料金】 2022年2月20日以降に設計評価及び長期使用構造等確認申請する場合

* 認証型式住宅部分等（以下「認証」という。）を含む一戸建ての住宅

◆設計住宅性能評価（併せて長期使用構造等確認を希望する場合）：基本料金＋選択料金

◆建設住宅性能評価：基本料金＋選択料金＋出張費

◆長期使用構造等確認：基本料金

1. 設計住宅性能評価料金※3

（税抜金額（税込金額）、単位：円）

(1) 「構造の安定に関すること」及び「劣化の軽減に関すること」に認証が適用される場合

階数	基本料金※1	選択料金※2
階数が3以下	34,000（税込37,400）	1,000（税込1,100）
階数が4以上	44,000（税込48,400）	1,000（税込1,100）

(2) 「構造の安定に関すること」に認証が適用される場合

階数	基本料金※1	選択料金※2
階数が3以下	36,000（税込39,600）	1,000（税込1,100）
階数が4以上	46,000（税込50,600）	1,000（税込1,100）

※1 5-2 一次エネルギー消費量を選択する場合については基本料金に2,000円（税込2,200円）を加算

ERIが指定するソフトウェアを用いて申請書等を作成した場合、2,000円（税込2,200円）を減額

※2 選択料金は必須以外の項目を選択する場合、必須項目を含まない分野毎に1,000円（税込1,100円）を加算。合計金額は5,000円（税込5,500円）を上限とする。

※3 戸建住宅の設計住宅性能評価申請において長期使用構造等確認を希望する場合は、上記合計金額に5,000円（税込5,500円）を加算

2. 建設住宅性能評価料金

（税抜金額（税込金額）、単位：円）

(1) 「構造の安定に関すること」及び「劣化の軽減に関すること」に認証が適用される場合（検査回数3回）

階数	基本料金※1	選択料金※2
階数が3以下	69,000（税込75,900）	1,000（税込1,100）
階数が4以上	79,000（税込86,900）	1,000（税込1,100）

(2) 「構造の安定に関すること」に認証が適用される場合

階数	基本料金※1	選択料金※2
階数が3以下	74,000（税込81,400）	1,000（税込1,100）
階数が4以上	84,000（税込92,400）	1,000（税込1,100）

※1 5-2 一次エネルギー消費量を選択する場合については基本料金に2,000円（税込2,200円）を加算

ERIが指定するソフトウェアを用いて申請書等を作成した場合、1,000円（税込1,100円）を減額

※2 選択料金は必須以外の項目を選択する場合、必須項目を含まない分野毎に1,000円（税込1,100円）を加算。合計金額は5,000円（税込5,500円）を上限とする。

3. 建設住宅性能評価に係る出張費 別表の出張費表による。

4. 長期使用構造等確認申請（税抜金額（税込金額）、単位：円）

(1) 「構造の安定に関すること」及び「劣化の軽減に関すること」に認証が適用される場合

階数	基本料金※1
階数が3以下	39,000（税込42,900）
階数が4以上	49,000（税込53,900）

(2)「構造の安定に関すること」に認証が適用される場合

階数	基本料金※1
階数が3以下	41,000 (税込 45,100)
階数が4以上	51,000 (税込 56,100)

※1 ERIが指定するソフトウェアを用いて申請書等を作成した場合、2,000円(税込2,200円)を減額

5. その他

①評価書等の追加印刷について

電子申請において評価書等が「紙」で必要な方は、申請時に追加発行の依頼をしていただければ、評価書等を「紙」で発行いたします。ただし、発行料金として1,500円(税込1,650円)/件を申請料金に加算させていただきます。

②「紙」申請による追加料金について

「紙」による申請に関しては、追加料金として1,500円(税込1,650円)/件を申請料金に加算させていただきます。

【共同住宅等（新築住宅）の評価料金】 2022年2月20日以降に設計評価及び長期使用構造等確認申請する場合

* 延べ面積 1,500 ㎡以内の鉄骨造又は木造である建築物（混構造は除く。）

◆設計住宅性能評価（併せて長期使用構造等確認を希望する場合）：住棟料金＋（基本料金＋選択料金）×住戸数

◆建設住宅性能評価：住棟料金＋（基本料金＋選択料金）×住戸数＋階数割増料金＋出張費

◆長期使用構造等確認：住棟料金＋住戸料金×住戸数

1. 設計住宅性能評価料金※3

（税抜金額（税込金額）、単位：円）

階数	住棟料金	基本料金※1	選択料金※2
階数が3以下	120,000（税込132,000）	1,000（税込1,100）	500（税込550）
階数が4以上	130,000（税込143,000）		

※1 5-2 一次エネルギー消費量、8-1 重量床衝撃音対策、8-2 軽量床衝撃音対策を選択する場合については基本料金にそれぞれ 1,500 円（税込 1,650 円）を加算

※2 選択料金は必須以外の項目を選択する場合、必須項目を含まない分野毎に 500 円（税込 550 円）を加算

※3 共同住宅等の設計住宅性能評価申請において長期使用構造等確認を希望する場合は、上記住棟料金の 5,000 円（税込 5,500 円）を加算

2. 建設住宅性能評価料金

（税抜金額（税込金額）、単位：円）

住戸数	住棟料金	基本料金※1	選択料金※2
階数が3以下	120,000（税込132,000）	5,000（税込5,500）	500（税込550）
階数が4以上	130,000（税込143,000）		

※1 5-2 一次エネルギー消費量、8-1 重量床衝撃音対策、8-2 軽量床衝撃音対策を選択する場合については基本料金にそれぞれ 1,500 円（税込 1,650 円）を加算

※2 選択料金は必須以外の項目を選択する場合、必須項目を含まない分野毎に 500 円（税込 550 円）を加算

3. 階層割増料金

階数（地階を含む。）が 17 以上となる場合、建設評価の住棟料金の 70,000 円（税込 77,000 円）を 7 層毎に加算

4. 建設住宅性能評価に係る出張費 別表の出張費表による。

5. 長期使用構造等確認申請

（税抜金額（税込金額）、単位：円）

階数	住棟料金	住戸料金
階数が3以下	120,000（税込132,000）	1,000（税込1,100）
階数が4以上	130,000（税込143,000）	

6. その他

①評価書等の追加印刷について

電子申請において評価書等が「紙」で必要な方は、申請時に追加発行の依頼をしていただければ、評価書等を「紙」で発行いたします。ただし、発行料金として 1,500 円（税込 1,650 円）/件を申請料金に加算させていただきます。

②「紙」申請による追加料金について

「紙」による申請に関しては、追加料金として 1,500 円（税込 1,650 円）/件を申請料金に加算させていただきます。

【共同住宅等（新築住宅）の評価料金】 2022年2月20日以降に設計評価及び長期使用構造等確認申請する場合

- ◆設計住宅性能評価（併せて長期使用構造等確認を希望する場合）：住棟料金＋（基本料金＋選択料金）×住戸数
- ◆建設住宅性能評価：住棟料金＋（基本料金＋選択料金）×住戸数＋階数割増料金＋出張費
- ◆長期使用構造等確認：住棟料金＋住戸料金×住戸数

1. 設計住宅性能評価料金※3

（税抜金額（税込金額）、単位：円）

住戸数	住棟料金	基本料金※1	選択料金※2
29戸以下	600,000（税込 660,000）	－	－
30戸以上 99戸以下	450,000（税込 495,000）	5,000（税込 5,500）	500（税込 550）
100戸以上	750,000（税込 825,000）	5,000（税込 5,500）	500（税込 550）

※1 5-2 一次エネルギー消費量、8-1 重量床衝撃音対策、8-2 軽量床衝撃音対策を選択する場合には基本料金

にそれぞれ 1,500 円（税込 1,650 円）を加算

※2 選択料金は必須以外の項目を選択する場合、必須項目を含まない分野毎に 500 円（税込 550 円）を加算

※3 共同住宅等の設計住宅性能評価申請において長期使用構造等確認を希望する場合は、以下の料金を加算

（面積、構造及び住戸数に関わらず）

a) 住棟料金 50,000 円（税込 55,000 円）

b) 基本料金 2,000 円（税込 2,200 円）

2. 建設住宅性能評価料金

（税抜金額（税込金額）、単位：円）

住戸数	住棟料金	基本料金※1	選択料金※2
29戸以下	850,000（税込 935,000）	－	－
30戸以上 99戸以下	800,000（税込 880,000）	8,000（税込 8,800）	500（税込 550）
100戸以上	1,000,000（税込 1,100,000）	9,500（税込 10,450）	500（税込 550）

※1 5-2 一次エネルギー消費量、8-1 重量床衝撃音対策、8-2 軽量床衝撃音対策を選択する場合には基本料金

にそれぞれ 1,500 円（税込 1,650 円）を加算

※2 選択料金は必須以外の項目を選択する場合、必須項目を含まない分野毎に 500 円（税込 550 円）を加算

3. 階層割増料金

階数（地階を含む。）が 17 以上となる場合、建設評価の住棟料金に 70,000 円（税込 77,000 円）を 7 層毎に加算

4. 建設住宅性能評価に係る出張費 別表の出張費表による。

5. 長期使用構造等確認申請

（税抜金額（税込金額）、単位：円）

住戸数	住棟料金	住戸料金
29戸以下	600,000（税込 660,000）	－
30戸以上 99戸以下	450,000（税込 495,000）	5,000（税込 5,500）
100戸以上	750,000（税込 825,000）	5,000（税込 5,500）

【共同住宅等（新築住宅）の評価料金】 2022年2月20日以降に設計評価及び長期使用構造等確認申請する場合

* 認証型式住宅部分等（以下「認証」という。）を含む共同住宅等

- ◆設計住宅性能評価（併せて長期使用構造等確認を希望する場合）：住棟料金＋（基本料金＋選択料金）×住戸数
- ◆建設住宅性能評価：住棟料金＋（基本料金＋選択料金）×住戸数＋階数割増料金＋出張費
- ◆長期使用構造等確認：住棟料金＋住戸料金×住戸数

1. 設計住宅性能評価料金※3

（税抜金額（税込金額）、単位：円）

(1) 「構造の安定に関すること」及び「劣化の軽減に関すること」に認証が適用される場合

住戸数	住棟料金	基本料金※1	選択料金※2
階数が3以下	80,000（税込 88,000）	1,000（税込 1,100）	500（税込 550）
階数が4以上	90,000（税込 99,000）		

(2) 「構造の安定に関すること」に認証が適用される場合

住戸数	住棟料金	基本料金※1	選択料金※2
階数が3以下	100,000（税込 110,000）	1,000（税込 1,100）	500（税込 550）
階数が4以上	110,000（税込 121,000）		

※1 5-2 一次エネルギー消費量、8-1 重量床衝撃音対策、8-2 軽量床衝撃音対策を選択する場合には基本料金をそれぞれ1,500円（税込 1,650円）を加算

※2 選択料金は必須以外の項目を選択する場合、必須項目を含まない分野毎に500円（税込 550円）を加算

※3 共同住宅等の設計住宅性能評価申請において長期使用構造等確認を希望する場合は、上記住棟料金を5,000円（税込 5,500円）を加算

2. 建設住宅性能評価料金

（税抜金額（税込金額）、単位：円）

(1) 「構造の安定に関すること」及び「劣化の軽減に関すること」に認証が適用される場合（検査回数3回）

住戸数	住棟料金	基本料金※1	選択料金※2
階数が3以下	80,000（税込 88,000）	5,000（税込 5,500）	500（税込 550）
階数が4以上	90,000（税込 99,000）		

(2) 「構造の安定に関すること」に認証が適用される場合

住戸数	住棟料金	基本料金※1	選択料金※2
階数が3以下	100,000（税込 110,000）	5,000（税込 5,500）	500（税込 550）
階数が4以上	110,000（税込 121,000）		

※1 5-2 一次エネルギー消費量、8-1 重量床衝撃音対策、8-2 軽量床衝撃音対策を選択する場合には基本料金をそれぞれ1,500円（税込 1,650円）を加算

※2 選択料金は必須以外の項目を選択する場合、必須項目を含まない分野毎に500円（税込 550円）を加算

3. 階層割増料金

階数（地階を含む。）が17以上となる場合、建設評価の住棟料金を70,000円（税込 77,000円）を7層毎に加算

4. 建設住宅性能評価に係る出張費 別表の出張費表による。

5. 長期使用構造等確認申請

（税抜金額（税込金額）、単位：円）

(1) 「構造の安定に関すること」及び「劣化の軽減に関すること」に認証が適用される場合

階数	住棟料金	住戸料金※1
階数が3以下	85,000（税込 93,500）	1,000（税込 1,100）
階数が4以上	95,000（税込 104,500）	

(2)「構造の安定に関すること」に認証が適用される場合

階数	住棟料金	住戸料金※1
階数が3以下	105,000 (税込 115,500)	1,000 (税込 1,100)
階数が4以上	115,000 (税込 126,500)	

6. その他

①評価書等の追加印刷について

電子申請において評価書等が「紙」で必要な方は、申請時に追加発行の依頼をしていただければ、評価書等を「紙」で発行いたします。ただし、発行料金として1,500円(税込1,650円)/件を申請料金に加算させていただきます。

②「紙」申請による追加料金について

「紙」による申請に関しては、追加料金として1,500円(税込1,650円)/件を申請料金に加算させていただきます。